

東日本大学OB・OG会 第32回会員総会 議事録

1. 開催日時：2023年4月28日(金)19時00分～20時00分

2. 開催場所：ふれあい貸し会議室 秋葉原滝上

3. 開催の成立

出席15校(途中から16校)委任状3校、葉書による議決権行使9校、合計27校の参加があり、会員33校の過半数の参加を得たため、本総会の成立を宣言した。議長は松多会長が務めることとなった。

4. 議事について

4-1 2022年度行事報告

質問・意見などはなく、出席者15校・葉書による議決権行使9校・委任状3校すべての賛成を以て承認された。

※ここから参加校が1校増え、出席者が16校となった。

4-2 2022年度収支決算

質問・意見などはなく、出席者16校・葉書による議決権行使9校・委任状3校すべての賛成を以て承認された。

4-3 会則の改定

質問：会費を取らない場合、正会員校はどの大学を指すのか。

回答：正会員校については、2022年度に正会員校であった34校から、退会の申し入れがあった1校を除いて33校を本年度の正会員校として認識している。

質問：もし年会費を取らないことになった場合、新しく加盟したい大学に対してはどのように対応するのか。

回答：もし2023年度・2024年度の年会費が0となった場合、新規の加盟校に対しても、該当期間の年会費は0とすることになる。しかし、原則として正会員校の年会費は10000円、準会員校の会費は3000円という規定は残っているので、減免期間終了後には年会費を払って頂く意思を確認して加盟して頂くことになる。

出席者16校・葉書による議決権行使9校・委任状3校すべての賛成を以て承認された。

4-4 2023年度行事計画案

事前の質問：第1号議案では2022年度の第17回日韓戦は「延期」となっており、全日本大学OB・OG会のホームページでは第17回日韓戦は「中止」となっている。2023年度の日韓戦は第17回となるのか、第18回となるのか。

回答：東日本および全日本大学OB会では第17回日韓戦は中止となったと認識している。(可能であれば2023年2～3月に開催する案もあったため、当初は「延期」という表現とさせて頂いている) 次回の日韓戦の回数については、韓国側との協議がまとまっていないため、正式な参加者募集の際にご連絡したいと思う。

質問：日韓OB戦とネット日韓戦は両方やるのか。

回答：ネット交流戦はリアルの交流戦に比べて準備が容易なので、時期が重ならないようにしつつ、双方1回ずつ開催したい。

※日韓戦についての日程や費用などの概要を説明した。

質問：夏休みで旅行費用が高くなる時期のように感じられるが、この費用で大丈夫か

確認：旅行会社は大丈夫だと言っているが確認したい。ホテルなどのグレードを下げ調整している可能性がある。

質問：コロナに対する準備や対応はどうなっているか。ワクチン証明書などは必要か

回答：確認してから正式な募集を行う。募集締め切りは5月末～6月上旬の予定。

出席者16校・葉書による議決権行使9校・委任状3校すべての賛成を以て承認された。

4-5 2023年度収支予算案

※第3号議案が可決されたので、役員会から2023年度・2024年度の年会費を0とする案が提案された。

また、全日本の負担金が今年は0と提案されていることを報告した。

事前の質問：団体戦収入が155万円となっているが、コロナ前の水準まで参加校が回復すると考えているのか。

回答：これに対しては100%回復するとは言い切れないが、制限も徐々に緩くなっていることから、2022年度の参加校よりはかなり増えるのではないかと考えている。155万円はコロナ前の水準だが、希望も込みでこの数字を設定した。

事前の質問：全日本負担金について、過去の全日本の事業は日韓戦のみであったが、学生支援も増えたので負担金は増えると思うのですが説明をお願いします。

回答：全日本大学OB・OG囲碁会の情報として回答：2022年度はコロナの影響で、2021年度に引き続き日韓交流戦を開催しなかったため、その部分の資金が蓄積されることになった。また2022年度に学生を支援するために計上した予算は、全日本学生囲碁連盟にまとまった寄付金収入があったこと、および学生棋戦の運営の努力などにより資金不足に陥ることがなく、全日本OB・OG囲碁会からの拠出は行われず積み立てられることとなった。

依然として学生囲碁連盟の財政は不安定ではあるため、2023年度も学生支援のための予算は計上しているが、東西の大学OB会からの拠出がなくとも現在の積立金によって2～3年間の学生支援は可能であると判断し、2023年度の拠出金は0でお願いすることとした。

出席者16校・葉書による議決権行使9校・委任状3校すべての賛成を以て承認された。

4-6 役員の交代

出席者16校・葉書による議決権行使9校・委任状3校すべての賛成を以て承認された。

5. その他、全日本の報告について

質問：学生支援について、団体戦の寄付預り金は全日本に渡さずに、東日本から直接に関東学生囲碁連盟に渡されている。全日本が学生支援をするとのことだが、資金を拠出の形で東西から全日本に渡さなくても、直接に東西OB会から学生囲碁連盟に渡せばよいのではないか。

回答：2021年度にコロナで日韓戦が中止になった折に、学生棋戦の開催が資金的に危ぶまれていたため、全日本の余剰金で学生の支援ができないかということで全日本から学生支援ができるように全日本の会則を改定した。一方で、東日本団体戦の寄付は東日本独自で集めているものであり、これまでどおり関東学生囲碁連盟への支援金としたい。

質問：東日本のホームページで確認した限りでは、全日本の会則に学生の支援が入っていない。会則を改定して学生支援を加えたとのことだが、HPでしっかり情報公開して欲しい

回答：全日本の回答とするが、全日本のHPが更新されていなかったことは不手際で謝罪する。HPを更新し、報告することにする。

以上